

## 募集要項

### 参加費

#### ①会場参加

社会人 16,000円、学生(会員校) 7,000円、学生(一般校) 9,000円  
※会場参加の参加費には宿泊・食事代・資料代、消費税を含みます

#### ②Zoomを用いたオンライン参加

社会人 7,000円、学生(会員校) 2,000円、学生(一般校) 3,000円  
※オンライン参加の参加費には資料代、消費税を含みます

### 募集について

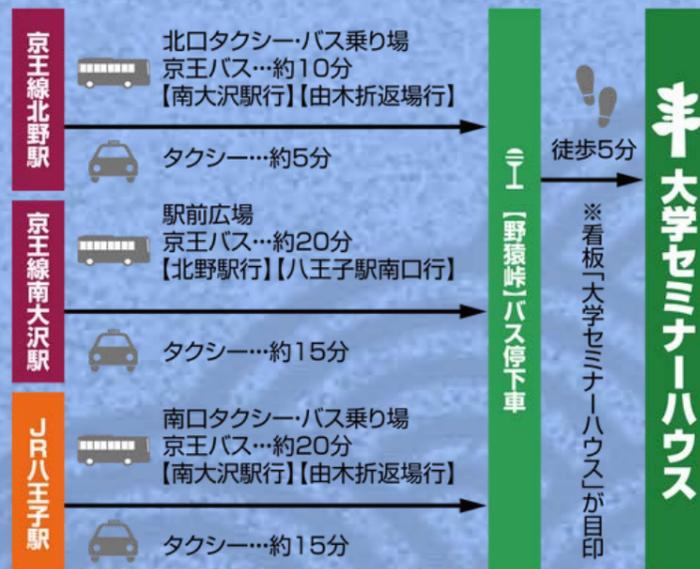
募集開始 2023年6月30日(金) 募集締切 2023年11月1日(水)

応募方法 「大学セミナーハウスHP申込フォーム」よりお申込みください

<https://iush.jp/seminar/2023/04/545/>



### ◆アクセス



# 古田武彦記念 古代史セミナー2023

## 「倭国から日本国へ」

開催日時 2023年11月11日(土)～12日(日)

開催形式 会場参加とZoomを用いたオンライン参加の  
同時双方向型ハイブリッドセミナー

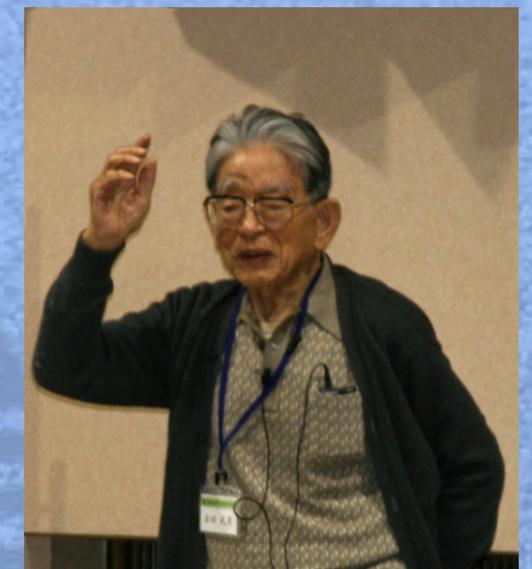
対象 古代史に関心のある方ならどなたでも

開催場所 (会場) 公益財団法人大学セミナーハウス  
東京都八王子市下柚木1987-1

(オンライン) Zoomミーティングルーム

主催 公益財団法人大学セミナーハウス

共催 多元的古代研究会 / 東海古代研究会 / 東京古田会 / 古田史学の会



2012年第九回古代史セミナー

### お問合せ

公益財団法人大学セミナーハウス セミナー事業部

Tel: 042-676-8512 (直) Fax: 042-676-1220

Email: [seminar@seminarhouse.or.jp](mailto:seminar@seminarhouse.or.jp)

ホームページ: <https://iush.jp>

 大学セミナーハウス  
INTER-UNIVERSITY SEMINAR HOUSE

# 古田武彦記念古代史セミナー2023

## 「倭国から日本国へ」

「古田武彦記念古代史セミナー」は、今回が6回目になります。近年のテーマは、卑弥呼の時代（3世紀）、倭の五王の時代（5世紀）、「日出づる処の天子」の時代（7世紀）と続き、今回は「倭国から日本国へ」をテーマにしました。

「卑弥呼が何処にいたか」、「倭の五王が何処にいたか」、「日出づる処の天子が何処にいたか」などは、それが完全に解明できているか否かはともかくとして、客観的な議論が可能な設問です。

それに対して、「倭国から日本国への移行は何時どの様に行われたか」は政治的要素を含む複雑な設問です。国際的に日本列島を代表していた国は、3世紀には倭国であり、8世紀には日本国であったことは客観的な事実（史実）ですが、倭国と日本国との関係については、「倭国の版図」、「日本国の誕生と版図」などまだまだ客観的には解明されていない難問が多く、今後の研究の進展が待たれます。このセミナーがその一助となることを願っています。

物語として古代を語るのには夢がありこの上なく楽しいのですが、古代史学においては科学的な「史実」の解明が基本であり、その作業即ち「証明」は客観的且つevidence-basedでなければなりません。「それでも地球は回っている」は科学的ですが、「それでも邪馬台国は近畿にあった」は科学的ではありません。

今回のセミナーでは「倭国」と「日本国」に焦点を合わせるにより、7～8世紀の真実の歴史に迫りたいと思います。セミナーは、『邪馬台国の滅亡 大和王権の征服戦争』（吉川弘文館 2010）や『謎の九州王権』（祥伝社 2021）などで知られる若井敏明先生の特別講演をお聴きした上で、古田先生の古代史学の研究方法と研究成果を再確認しながら、倭国から日本国への移行に関するevidence-based historyについて建設的な議論が盛り上がることを期待しています。そのために設定した2つのセッションは、講演とパネルディスカッション及び質疑応答を組み合わせる構成にしてみました。

このセミナーは、研究者のみならず、古代史に関心を持つ全ての人を歓迎します。このセミナーが、若い人々が真実の古代を覗く窓になれば幸いです。

このセミナーは、大学セミナーハウスと多元的古代研究会、東海古代研究会、東京古田会及び古田史学の会が共同で開催します。



実行委員長 荻上 紘一

◇委員◇ 大越 邦生  
大墨 伸明  
橘高 修  
西坂 久和  
畑田 寿一  
富川ケイ子  
和田 昌美

### 11月11日(土)

- 11:30～ 受付・昼食
- 13:00～ 開会
- 13:30～ 特別講演(若井敏明先生)  
・ディスカッション
- 16:45～ 古田武彦氏の業績に基づく論点整理  
(大越邦生委員)
- 18:00～ 夕食
- 19:00～ 情報交換会  
古田武彦古代史研究会について  
(古田光河氏) など

### 11月12日(日)

- 9:00～ セッションI  
理系から見た「倭国から日本国へ」
- 12:30～ 昼食
- 13:30～ セッションII  
遺構に見る「倭国から日本国へ」
- 16:30～ 閉会・解散

## 特別講演

### 『日本書紀』よりみたる古代ヤマト王権の成立と発展

わかい としあき  
若井 敏明

いわゆるヤマト王権の成立と発展については、これまで中国の史書や考古学の成果をもとに論じるのが一般的だった。その一方で、ヤマト王権の後身である律令国家も、『古事記』や『日本書紀』という史書を編纂して、みずからの来歴を記しているが、それらの伝える情報はあまり重視されてきたとはいえない。たしかにそれらが編纂されたのは、問題としている時代から隔たった時期であり、また多分に伝説化した記述もあり、年代も実際よりは古く編年されているなど、問題点も多い。またその編纂に政治的意図をみようという見解も根強い。しかしながら、それでもなお、律令国家が伝えるみずからの歴史を顧みないのは、ただでさえ資料の乏しいこの時代を考えるうえで、決して望ましいことではないと私は考える。本講演では、日本側の史書、とくに『日本書紀』の記述からヤマト王権の歴史を復原し、その有効性について、その限界も含めて示してみたいと思っている。



#### 若井敏明先生プロフィール

関西大学・神戸市外国語大学非常勤講師。1958年生まれ。博士（文学）。著書に『平泉澄』（ミネルヴァ書房、2006年）、『邪馬台国の滅亡』（吉川弘文館、2010年）、『仁徳天皇』（ミネルヴァ書房、2015年）など。

## 講演

### 古田武彦氏の業績に基づく論点整理

そうだったのか「倭国から日本国へ」 ..... 大越邦生

### セッションI 理系から見た「倭国から日本国へ」

「地天泰」分類の進展 -- 倭国から日本国へ -- ..... 谷川清隆  
法隆寺(南朝尺2等材)は太宰府法興寺の移築 ..... 川端俊一郎  
国名変遷の基本問題 -- 倭国・扶桑国・日本国の関係 -- ..... 谷本茂  
パネルディスカッション ... 谷川清隆、川端俊一郎、谷本茂、大越邦生、大墨伸明（司会）

### セッションII 遺構に見る「倭国から日本国へ」

飛鳥時代（7世紀後半）の遺構解釈 -- 飛鳥浄御原宮と藤原京 -- ..... 新庄宗昭  
律令制都城論と藤原京の成立 -- 中央官僚群と律令制土器 -- ..... 古賀達也  
パネルディスカッション ..... 新庄宗昭、古賀達也、谷本茂、和田昌美、橘高修（司会）

各講演の要旨は  
ホームページをご参照ください⇒  
<https://iush.jp/seminar/2023/04/545>

